

株主通信

2026年6月

YBHD NEWS No.71

- 第162回 定時株主総会決議ご通知
- 第162期 事業報告書



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード:5911



代表取締役
社長執行役員

中村 譲

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年4月に代表取締役社長執行役員に就任いたしました中村でございます。これまで培ってきた確かな技術と豊富な人材を両輪に、新設から保全、橋梁から建築、国内から海外へと、市場の変化に柔軟かつ迅速に対応できる経営体質の構築に邁進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。ここに当社第162期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、株主通信をお届けし、その概況をご報告申し上げます。

第7次中期経営計画(2025年度から2027年度まで)の初年度となる前期の業績につきましては、売上高は当初想定を下回りましたが、営業利益は想定を上回る水準を確保いたしました。

今期は第7次中期経営計画の2年目となります。

当社は、成長を加速させる大きな一歩として、本年3月30日、株式会社ビーアールホールディングスの連結子会社化を完了いたしました。国内有数のPC専門メーカーをグループに迎え、「鋼の横河」と「コンクリートのビーアール」が一つになることで、あらゆるインフラのニーズに高いレベルで応えられる「総合橋梁エンジニアリング企業集団」としての体制が整いました。今後は、早期にアクションプランを策定し、シナジーの具現化に注力してまいります。

今期の見通しにつきましては、売上高は、ビーアールホールディングスのグループインにより大幅な増収となる一方、営業利益は、国内橋梁事業の伸び悩みや販管費の増加等により、前期比で減益を見込んでおります。セグメント別では、橋梁事業は、国内新設発注量の回復は見込めず、依然として厳しい事業環境が続くものと想定されますが、前期から回復基調にあるシステム建築事業およびエンジニアリング事業を、さらなる成長軌道に乗せるとともに、ビーアールホールディングスとのシナジーを発揮することで、グループ全体での持続的成長を目指します。第7次中期経営計画の2年目として、売上高2,000億円という大きな目標に向け、グループ一丸となって収益基盤の強化と企業価値の向上に邁進してまいります。

株主還元につきましては、第7次中期経営計画期間全体で70億円以上の自己株式の取得を計画しており、初年度である前期は20億円の取得を実施いたしました。

また、配当方針につきましては、DOE 3.5%以上を目標とした累進配当を継続しており、今期は、前期から10円増配し、1株当たり130円とする予定です。

今後もグループの総力を結集し、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

新任代表取締役の略歴

代表取締役社長執行役員 **中村** **譲** (兼 株式会社横河ブリッジ 代表取締役社長執行役員)

就任日 2026年4月1日
出身地 島根県
最終学歴 山口大学工学部土木工学科卒業
生年月日 1961年5月14日

略歴
1984年4月 横河工事株式会社(現 株式会社横河ブリッジ)入社
2012年6月 同社取締役東京建設本部副本部長兼土木工事部長
2019年6月 株式会社横河ブリッジ常務取締役
2022年4月 当社執行役員 兼 株式会社横河ブリッジ取締役副社長執行役員
2023年6月 当社取締役執行役員 兼 株式会社横河ブリッジ取締役副社長執行役員
2024年6月 当社取締役執行役員 兼 株式会社横河ブリッジ代表取締役社長執行役員
2025年6月 当社代表取締役専務執行役員 兼 株式会社横河ブリッジ代表取締役社長執行役員
2026年4月 当社代表取締役社長執行役員 兼 株式会社横河ブリッジ代表取締役社長執行役員(現任)

第162回定時株主総会決議ご通知

2026年6月25日開催の当社第162回定時株主総会におきまして、以下のとおり報告ならびに決議されましたのでご報告申し上げます。

報告事項

1. 第162期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。

2. 第162期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)計算書類報告の件

本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案

剰余金の配当の件

本件は、原案どおり承認可決されました。(期末配当金は1株につき60円と決定いたしました。)

第2号議案

定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第3号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)7名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役に高田和彦、中村譲、湯川雅之、黒本和憲、神野秀磨の5氏が再選され、中岡康次、石塚由紀の両氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、黒本和憲、神野秀磨、石塚由紀の3氏は、社外取締役であります。

第4号議案

監査等委員である取締役3名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役に尾崎聖治、渋谷晴子の両氏が再選され、新井隆氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、尾崎聖治、渋谷晴子の両氏は、社外取締役であります。

以上

本総会終了後開催いたしました取締役会において、次のとおり代表取締役が選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役
取締役会長 **高田和彦(重任)**

代表取締役
社長執行役員 **中村譲(重任)**

また、同じく監査等委員会において、新井隆氏が常勤の監査等委員に選定され、就任いたしました。

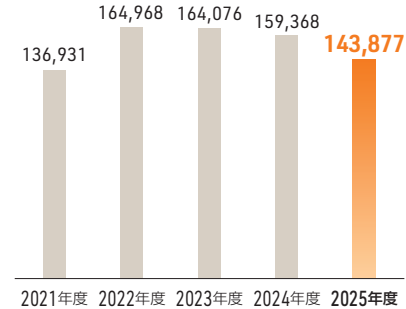
当期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の業績につきましては、売上高は1,438億7千万円(前期比154億9千万円減)、営業利益は135億円(同31億7千万円減)、経常利益は136億1千万円(同26億8千万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は86億8千万円(同41億7千万円減)と減収減益となりました。

来期(2026年4月1日から2027年3月31日まで)の見通しとしましては、売上高はビーアールホールディングスの連結子会社化に伴い大幅な増収となる一方で、営業利益は橋梁事業の伸び悩みや販売費及び一般管理費の増加等により減益を想定しております。

全体の通期業績は、売上高は1,980億円、営業利益は120億円、経常利益は112億円、親会社株主に帰属する当期純利益は82億円と予想しております。

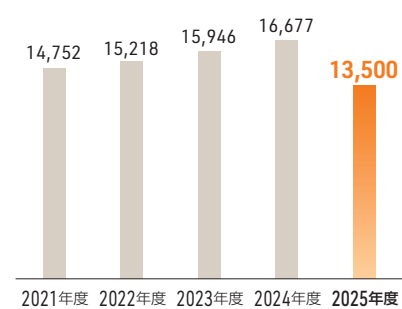
売上高

(単位:百万円)



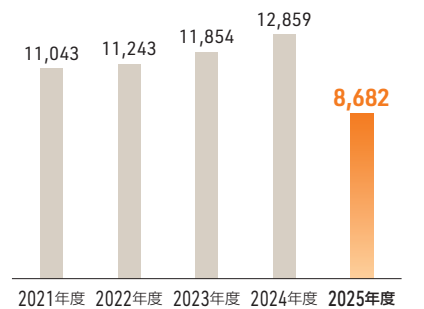
営業利益

(単位:百万円)



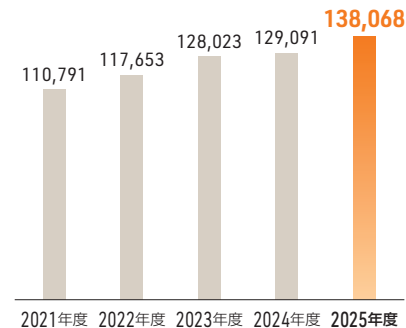
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



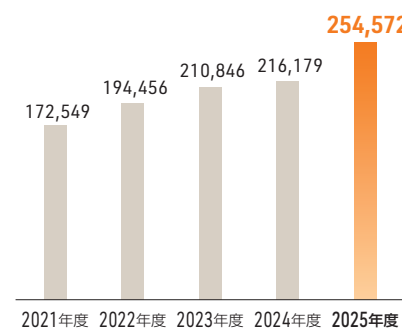
純資産

(単位:百万円)



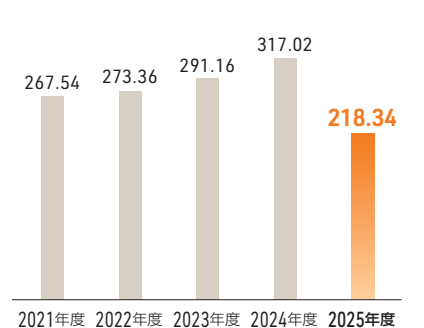
総資産

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



決算情報の詳細はこちらをご覧ください
<https://www.ybhd.co.jp/ir/results/>



ビーアールホールディングスが当社グループに加わりました

2026年3月30日、株式会社ビーアールホールディングスが当社グループの新たな仲間として加わりました。同社は、東証プライム市場への上場実績(旧証券コード:1762)を有する企業グループです。橋梁を中心としたプレストレストコンクリート(PC)工事を主力とする建設事業に加え、コンクリート製品の製造販売などを幅広く手掛けてまいりました。

ビーアールホールディングス 会社情報

商号	株式会社ビーアールホールディングス
代表者	代表取締役社長 山根 隆志
所在地	広島市東区光町2-6-31
設立	2002年9月27日
事業内容	橋梁を中心とするPC工事を専門分野とする建設事業を主な事業とし、コンクリート二次製品の製造販売、情報処理・ソフトウェア開発などを展開。 PC技術を活用した橋梁新設工事と構造物の補修・補強工事および大規模修繕事業(橋梁・トンネル)などを手掛ける。 自社グループの土木・建築用プレキャスト部材の製造やコンクリート二次製品、土木・建設製品の製造販売を展開。

主要事業のご紹介



【新設橋梁】

工事名 ▶ 大芝大橋
場所 ▶ 広島県
橋長 ▶ 470.0m
施工者 ▶ 住友建設株式会社・極東工業(現:極東興和)株式会社共同企業体



【建築】

工事名 ▶ MAZDA Zoom-Zoomスタジアム
場所 ▶ 広島県
製品 ▶ 柱・梁およびスラブ他



【鉄道】

工事名 ▶ 九州新幹線(西九州)、大村・長崎間軌道スラブ製作運搬
場所 ▶ 長崎県大村市~長崎県長崎市
製品 ▶ 軌道スラブ

当社グループは、第7次中期経営計画において、「成長分野への経営資源の積極投入」と「収益構造の強靱化」を基本方針に掲げています。ビーアールホールディングスが持つPC技術と豊富な施工実績は、保全・補修工事を中心とした橋梁市場やトンネルセグメント等の土木関連市場における当社グループの事業領域拡大を力強く後押しするとともに、建設・製造・エンジニアリングにわたる収益基盤の強化にも貢献するものです。

長年培ってきた「鋼」の技術と新たな「PC」の技術を融合させることで、「総合エンジニアリング企業」への進化を加速し、持続的な企業価値の向上を実現してまいります。

総合エンジニアリング企業へ



基幹事業におけるシナジー

①橋梁事業

- ▶ 新設・保全領域における競争力の強化
- ▶ プレキャスト技術による製品力の強化
- ▶ 全国の工場・事業拠点の最適化による施工体制の強化

②システム建築事業

- ▶ PC部材活用による製品の高付加価値化
- ▶ 相互の顧客基盤を活かした営業力の強化
- ▶ プレキャスト技術による現場施工の効率化

③エンジニアリング事業

- ▶ 地下空間事業における競争力の強化と営業エリアの拡大
- ▶ 洋上風力発電事業など新規成長市場への参入機会の拡大
- ▶ 鋼・PCの複合技術による強靱で安全・安心なインフラの提供

取締役

なかおか やすつぐ
中岡 康次

取締役
財務IR室長、経理部担当



略歴 1989年 4月 株式会社日本長期信用銀行(現 株式会社SBI新生銀行)入行
2000年 9月 株式会社日本興業銀行(現 株式会社みずほ銀行)入行
2009年10月 株式会社みずほフィナンシャルグループ主計部次長
2012年 7月 株式会社みずほコーポレート銀行(現 株式会社みずほ銀行)管理部長
2013年10月 株式会社みずほフィナンシャルグループ管理部長
2017年 4月 同社ファシリティマネジメント部次長
2020年 4月 当社財務IR室長
2025年 4月 当社執行役員財務IR室長
2026年 6月 当社取締役執行役員(現任)

あらい たかし
新井 隆

取締役
(監査等委員)



略歴 1984年 4月 当社入社
2008年 4月 株式会社横河技術情報(現 株式会社横河ブリッジ技術情報)総務部長
2017年 6月 同社監査役
2020年 7月 当社情報企画室長
2022年10月 株式会社横河技術情報執行役員情報システム部長
2026年 6月 当社監査室長
株式会社横河技術情報執行役員情報セキュリティ全般
当社取締役(監査等委員)(現任)

いしづか ゆき
石塚 由紀

社外取締役



略歴 1985年 4月 株式会社伊勢丹入社
2015年 4月 株式会社三越伊勢丹執行役員
2017年 4月 株式会社三越伊勢丹ホールディングス執行役員
株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ代表取締役社長
2021年 4月 株式会社仙台三越代表取締役社長
2022年 6月 株式会社三越伊勢丹ホールディングス取締役
2026年 6月 当社社外取締役(現任)

執行役員

やまね たかし
山根 隆志 執行役員
橋梁事業(P・C)・
P・C関連製品担当

略歴 1980年 4月 極東工業株式会社(現 極東興和株式会社)入社
2015年 6月 同社取締役営業本部長
株式会社ビーアールホールディングス
取締役営業本部長
東日本コンクリート株式会社取締役
キョクトウ高宮株式会社代表取締役社長
株式会社ビーアールホールディングス
常務取締役営業本部長
2022年 4月 極東興和株式会社代表取締役社長(現任)
2025年12月 株式会社ビーアールホールディングス
代表取締役社長(現任)
2026年 5月 当社執行役員(現任)

よしおか しゅうじ
吉岡 修治 執行役員
機械鉄構事業担当

略歴 1987年 4月 当社入社
2022年 4月 株式会社横河システム建築(現 株式会社横河ブリッジシステム建築)執行役員設計本部長
2024年 6月 株式会社榑崎製作所取締役常務執行役員
洋上風力プロジェクト室長、設計部・技術
開発室担当
2025年 4月 同社取締役常務執行役員調達部・室蘭工
場担当
2026年 4月 当社執行役員機械鉄構事業担当(現任)
株式会社榑崎製作所代表取締役社長執行
役員調達部・室蘭工場担当(現任)

ふるの じゅん
古野 潤 執行役員
事業開発室長

略歴 1992年 4月 当社入社
2023年 4月 株式会社横河ブリッジ執行役員アドバン
ストエンジニアリング事業部長兼技術部
長
2024年 4月 株式会社横河システム建築(現 株式会社
横河ブリッジシステム建築)執行役員設
計本部長(現任)
2025年10月 当社事業開発室長
2026年 4月 当社執行役員事業開発室長(現任)

TOPICS
01

グループブランディングプロジェクト

当社グループは、ステークホルダーの皆様へ私達の提供価値や目指す未来をより深くご理解いただくため、「横河ブリッジ」ブランドのアイデンティティを再定義いたしました。

策定にあたっては、全社員アンケートや社長インタビュー、ワークショップなどを実施しました。

この新たな旗印のもと、社員一人ひとりが挑戦を続け、さらなる企業価値向上に邁進してまいります。



2日間にわたるワークショップでは、各社から様々な経歴を持つメンバーが集まり、ルーツやビジョンに対する活発な議論が行われました。



各社社長にブランディングプロジェクトに期待することなどをインタビューしました。

橋をつくり続けてきた、横河ブリッジグループ。
私たちは、これまで培った技術で
さまざまな建造物を手がけ、世の中の基盤を支えてきた。
ブリッジさせる。それは、新たな価値をつなぐこと。
街と街、人と人をむすぶだけでなく、
経済や文化といった、人間のあらゆる営みに
まったく新しい可能性をひろげることだ。
まだ見ぬ人々を想い、つぎの世界の礎をつくろう。
100年先の未来へ、よろこびと驚きをつなごう。
それが、私たちの仕事だから。

人と未来をブリッジさせる。

横河ブリッジグループ

TOPICS
02

「第5回日経統合報告書アワード 優秀賞」を初受賞いたしました。

この度、当社が発行した「統合報告書2025」が、日本経済新聞社主催の「第5回日経統合報告書アワード」において、「優秀賞」を受賞いたしました。

本アワードは、多くの参加企業(2025年度は504社・団体)の中から、ファンドマネージャーやアナリストなどの専門家が、中長期的な企業価値創造のストーリーやガバナンス、ESGへの取り組みを多角的に審査するものです。

当社は2021年度より、株主・投資家の皆様へ当社の持続的な成長プロセスをより深くご理解いただくため、本報告書の発行を続けてまいりました。今後も、さらなる情報開示の充実を図るとともに、対話を通じて皆様との信頼関係を深め、企業価値の向上に努めてまいります。



日経統合報告書
アワード受賞企業

<https://ps.nikkei.com/nira/jushou25.html>



YBHDホームページ

<https://www.ybhd.co.jp/sustainability/integrated-report/>



統合報告書2025

学研まんがでよくわかるシリーズ

『橋のひみつ』を共同制作



株式会社横河ブリッジは、株式会社Gakkenが発行する「学研まんがでよくわかるシリーズ」の227巻として、『橋のひみつ』を共同で制作しました。本書は、Gakkenを通じて、全国すべての小学校・特別支援学校に20,000部、全国の公立図書館・児童館などに4,000部を寄贈しています。

「学研まんがでよくわかるシリーズ」は、20年以上にわたって、「ひみつシリーズ」として親しまれている小学生向けの学習まんがです。科学、社会、産業、技術など、子どもたちの身の回りにある様々なテーマを、楽しいまんがでわかりやすく紹介しており、教育現場でも広く活用されています。

今回発行する『橋のひみつ』は、橋が私たちの生活に不可欠なインフラであること、そしてその設計、製造、架設、保全に込められた技術や想いを、主人公の男の子と幼馴染の女の子が、橋が作られていく過程を通じて学んでいく物語です。

なお、本シリーズは非売品のため書店等での一般販売はありません。全国の小学校・公立図書館などのほか、「学研まんがひみつ文庫」および「キッズネット」にて無料で公開されていますので、ぜひご覧ください。

■書籍概要

タイトル：学研まんがでよくわかるシリーズ『橋のひみつ』
企画制作：株式会社Gakken
企 画：株式会社アクシスジャパン
まんが：マリサ
構 成：橋 悠紀
制作協力：株式会社横河ブリッジ

■目次

プロローグ 入り江に橋がかかる
第1章 橋があるのはなんのため？
第2章 橋には種類がいっぱい！
第3章 橋と橋づくりの歩み
第4章 橋ができるまで
第5章 未来の橋はどうなるの？
エピローグ 人と人を結ぶ橋



学研まんが
ひみつ文庫



キッズネット

役員一覧 (2026年6月25日現在)

代表取締役会長	高田和彦
代表取締役社長執行役員	中村謙之
取締役常務執行役員	湯川雅之
取締役執行役員	中岡康次
社外取締役	黒本和憲
社外取締役	神野秀磨
社外取締役	石塚由紀
取締役常勤監査等委員	新井隆
社外取締役監査等委員	尾崎聖治
社外取締役監査等委員	渋谷晴子
社外取締役監査等委員	梶山園子
専務執行役員	宮本英典
執行役員	生越寿昭
執行役員	高藤伸治
執行役員	光田浩
執行役員	春日井俊博
執行役員	山根隆志
執行役員	吉岡修治
技 監	古野潤典

株主優待制度

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、今後とも多くの株主の皆様へ当社へのご理解とご支援をいただき、中長期的に当社株式を所有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

贈呈品

株主様の当社株式保有状況	贈呈品
1,000株(10単位)以上を保有の株主様	クオカード 1,000円分を贈呈
1,000株(10単位)以上を5年以上保有の株主様	クオカード 1,000円分を加算して贈呈

贈呈対象株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に、記載又は記録された株主様のうち、1,000株以上ご所有の株主様を対象に実施しております。

株式の状況

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式総数	43,164,802株
株主数	29,030名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,386	13.54
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,068	7.71
日本製鉄(株)	1,987	4.99
横河電機(株)	1,676	4.21
横河ブリッジホールディングス従業員持株会	982	2.47
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	746	1.87
日本生命保険相互会社	543	1.36
RE FUND 107-CLIENT AC	529	1.33
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	501	1.26
(株)みずほ銀行	445	1.12

(注) 1. 当社は、自己株式を3,406,610株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



贈呈基準日および送付方法

毎年3月31日を基準日として年1回実施いたします。なお、クオカードについては6月下旬の定時株主総会議決通知に同封し送付いたします。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年3月31日
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日および12/31~1/3を除く)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.ybhd.co.jp/



表紙の写真
相良橋

所在地： 熊本県球磨郡球磨村
鋼重： 1,298 t
形式： 2径間連続下路式トラス橋

相良橋は、熊本で発生した令和2年7月豪雨で流出した(旧)相良橋の災害復旧事業です。橋長235mの鋼2径間連続下路式トラス橋でトラッククレーンベント工法とトラバレークレーン工法で施工しました。色彩は近接する鉄道橋との差別化を図りつつ、明るい河川景観に映える旧橋と同様の鮮やかな赤色のトラス橋となっています。取付道路の工事がこれから行われ、2027年中に開通する見込みです。



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号
TEL. 03-3453-4111 (代表) <https://www.ybhd.co.jp/>



当社ウェブサイトのご紹介



トップページ



サステナビリティページ

当社事業だけでなく、IRやサステナビリティ、ガバナンスなど、より充実した情報を株主の皆様にお届けしてまいりますので、ぜひご覧ください。



アクセスはこちら

<https://www.ybhd.co.jp/>

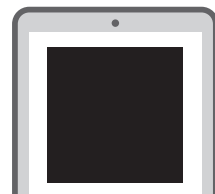
株主アンケート

皆さまの **声** を
お聞かせください

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

抽選でギフト券を進呈!



サービス運営会社：株式会社プロネクサス
お問い合わせ：コエキク事務局
koekiku@pronexus.co.jp

コエキク